

LOVE POCKET FUNDについて

<日本財団母乳バンク支援実施のお知らせ>

「LOVE POCKET FUND」は、早産・極低出生体重（1500g未満）の赤ちゃんに「ドナーミルク」を提供する日本財団母乳バンクへの支援を致しました。

日本では年間5,000人、一日13人も小さく生まれた赤ちゃんが、ドナーミルクを必要としています。

1500g未満の小さく生まれた赤ちゃんは、母親のお腹の外で生活するための機能が未熟なため、母乳以外の粉ミルクなどを摂取すると壊死性腸炎などの重い病気にかかるリスク・重症化する危険があります。母乳は単に「栄養」だけではなく、感染症や腸の病気から身を守る、小さく生まれた赤ちゃんの命を守るためには欠かせないものなのです。

母乳バンクは、ご自身のお子さんが必要とする以上に母乳が出るドナーよりご寄付いただいた母乳を、適切に処理・検査・冷凍保管し、「ドナーミルク」として、早く小さく産まれた赤ちゃんに提供する仕組みです。母乳バンクの施設には、高度な殺菌が可能となる高性能機器をそろえており、さらに施設内でドナーミルクの安全性と効果の研究も行われています。

このように、小さく生まれた赤ちゃんの命を支えるためには、ドナーミルクを使用する施設やドナーを増やすことが急務ではありますが、現在、ドナーミルクを届けるための施設は、日本にはまだ2施設しかありません。2022年7月から、国内2施設の一つである、一般財団法人日本財団母乳バンクへの支援を行い、全国の小さな赤ちゃんを治療する病院へ、安全な母乳を届けることができています。

皆様からいただいたご寄付を、全国の小さく生まれた赤ちゃんとその家族を救うことのできる、母乳バンクへの支援として活用させていただきます。

<支援先> 一般財団法人 日本財団母乳バンク

<支援内容> 母乳を安全に保管するための医療用冷凍庫 他

<支援金額> 3,350,000円



■ドナーミルク利用者の声

妊娠中、出血をしたため受診したところ異常が分かり、大学病院へ救急搬送・出産、母子ともに危険な状態でした。妊娠25週、600g弱の女の子を出産しましたが、出産後すぐに意識が戻らず、ドナーミルクについて先生から父親に説明がありました。子どもにしてあげられることは、なんでもしたかったので、迷いはありませんでした。

600gに満たない体で生まれたにもかかわらず、今は順調に成長しています。

■母乳バンクQ&A

Q: 粉ミルク（人工乳）じゃダメですか？

A: 正期産で元気に生まれた赤ちゃんには、粉ミルクは有益で、ドナーミルクを使う必要はありません。

赤ちゃんは本来、お母さんのおなかの中で羊水を飲んで、腸を成熟させますが、ドナーミルクの提供対象となる早産・極低出生体重（1500g未満）の赤ちゃんは、腸管が未熟な状態で生まれてきます。腸粘膜のバリア機能も十分でないため、体に悪い菌が入ってしまうリスクがあります。

Q: ドナーミルクは安全なのですか？

A: 厳正を期して登録いただいたドナーからの母乳が母乳バンクに届いたら、手術室レベルの清浄度を保つクリーンルームにて、殺菌処理の前に細菌検査を行い、母乳に病原菌が含まれていないことを確認し、低温殺菌処理を行います。その後、あらためて細菌検査にて細菌が全く検出されないことを確認したもののみが「ドナーミルク」として提供されますので安心・安全なドナーミルクをお届けできます。

LOVE POCKET FUND とは...

「for youだけどfor meでもある」

“あなたのため”が“自分のため”になる、の言葉を胸に、「誰かにやさしくすることで自分も幸せになれる」、をコンセプトに2020年4月27日に開始しました。

主に『生きにくさ』を抱えている女性や子供への支援や高齢者・地方創生に係る支援を行って
いく基金として準備され、新型コロナウイルスの感染拡大の中、コロナ対策に取り組むことを
決意、第一弾プロジェクトとして、「新型コロナプロジェクト」が開始。2022年3月31日をも
って、第一弾として行った「新型コロナプロジェクト」についての寄付受付のみ終了。
「LOVE POCKET FUND」への寄付の受付は継続して行っております。

<https://love-pocket-fund.jp/index.html#youtu>

問合せ先

モボ・モガ小中konaka@mobo-moga.tokyo